

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

1月号/2012年2月1日発行

スバリゾート
ハワイアンズ
ラピータ

1月新年例会・賀詞交歓会

1月12日(木)
18:30~

演題 「いわきの地域再生は経済特区で」

講師 東日本国際大学経済情報学部 教授 大川 信行氏



講演内容

今日はマスクのまま失礼致します。

先日、ある会合に出席しまして、いわき経済同友会さんがいわき市に対して“いわき市を経済特区に”の提言をしていると聞き、その目の付け所に驚きました。実は私自身、“特区”をやらないでどうするの？という考えを持っているからです。さて、いわき市は特区について関心はあるのですが、復旧の所で止まってしまって、積極的な取り組みに欠いているのが現状です。

今日は、正にその勉強をするのにいい機会だと思います。

I. 地域再生の基本的な考え方

1. 時間軸に対応した対応策で考える！

いわき市も復興計画を作っています。先程も申しましたが、復旧で止まっています。これでも再生はします。

しかし、私は元に戻るのではなく、敢えて復興プラス振興とか発展再生の意味を込めています。

2. 復興・振興は被災前のファンタメンタルズ(経済基盤等)が基礎！

復興特需は一時的なものです。震災前のいわき市のファンタメンタルズは“下がりぎみ”だったので、前よりもっとひどくなるということです。

3. 資源の最適配分と効率利用は経済学アプローチで！市場メカニズムの援用する。これの代表選手が“特区”の構想です。

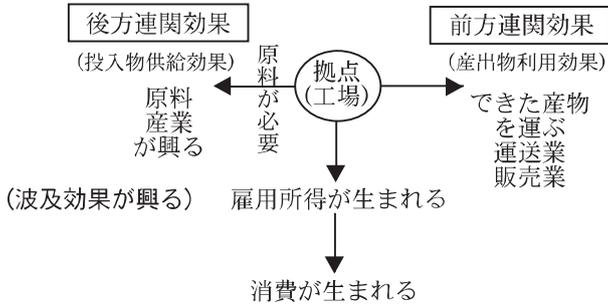
4. 行政主導は初期段階、最終的には民間主導！

II. 特区の経済学的理解—特区推進を強いるために

1. 均衡発展か不均衡発展か

2. 戦略的重点投資による経済波及効果

均衡発展がいいのか、不均衡発展がいいのか。“特区”の構想とは不均衡発展の典型であります。戦略的に発展の拠点をつくり重点的に集中投資をする。それによって次々と誘発投資が興る。その結果その地区が発展する拠点となる。



3. 一般的優遇措置として財政特例、課税特例、特別償却、政策金融、規制緩和がある。

財政特例(国、地方自治体からの重点配分)

たとえば北海道は以前は95%が補助金でした。今はこれが沖縄に変わりました。いわき市は新産都市としての公共投資で小名浜港が整備された。

ですから、今回も被災3県は復興特例として補助金を出すべきでしょうが、これでは国がもたないのですね。

課税特例

企業誘致の不動産取得税、事業税、固定資産税の減免、不均一課税

特別償却・税額控除

特別償却：普通償却額の別枠で、償却費の損金算入が可能となる課税の繰り延べ制度。特別償却と割増償却(特別償却に上の乗せ)がある。税額がより少なくなる。

政府金融

政府系金融機関による優遇措置(出資、長期低利融資等) 規制緩和

基準、規格、所有、事業範囲等の規制を撤廃・緩和をし、より市場競争を促進し経済活動を活性化する。

III. 復興特区の概要

1. 関連法令等

- ・復興基本法(6月 復興庁、復興特区、復興債発行等)
 - ・原発賠償支援法(8月 東電の被災者に対する賠償金支払いを支援するため支援機構を設置)
 - ・復興庁設置法(12月 12年3月までに設立)
 - ・再生エネルギー特別措置法 ・復興特別区域法
 - ・福島復興再生特別措置法案 ・復興財政法
- などの関連法案ができました。

2. 関連予算

区分	成立	予算規模	実質GDP押し上げ効果
第1次	5月2日	4兆円	0.6%(内閣府予想)
第2次	7月25日	2兆円	0.3%(内閣府予想)
第3次	11月21日	10兆円	1.7%(内閣府予想)
第4次	1月予定	2.5兆円	0.6%(民間予想)

3. 復興特別区域法

- (1) 法体系
- (2) 復興推進計画
 - A 手続き
 - B 特例措置 規制緩和の特例、税制上の特例
- (3) 復興整備計画 土地利用の再編
- (4) 復興交付金事業計画に基づく交付金

IV. 若干の提言

・PPP(公民連携)で新組織を創設をする。

理由

- 1 緊急性がある。(公募型補助金への対応、第3次補正予算への対応。⇒間に合わない)
- 2 人材不足(復旧事業等で市職員不足、他の自治体からの支援で賄っている状態⇒企画に手が回らない)
- 3 民間進出マインド低下(放射能問題も加わり、民間から提言が無い少ない)⇒他地域ではエコタウン、スマートコミュニティ等の民間提言が積極的。
- 4 長期的観点から市単事業によるコンサルタントを活用する。
⇒自治体は自前だが、国は積極的に活用している。



賀詞交歓会



1月グループ会報告

経営秘訣研究グループ会

■日 時 1月13日(金曜日)18:30～
■場 所 イタリアンコート

●内 容 グループ内の新年会を行いました。次年度グループ長の芳賀さんをお招きし、次年度グループ会の方向性、内容等を協議。その後おいしいお料理・お酒をいただきながら、近況報告等で盛り上がりあつという間の2時間半でした。

2月グループ会は通常に戻り、異業種の仕組み・制度・知識を学びます。長瀬印刷坂本さんをはじめ、楽しい内容で行いますので、ご参加よろしくお願いたします。



経営品質向上グループ会

■日 時 1月16日(月曜日)18:30～
■場 所 小名浜美食ホテル 太郎茶屋

●内 容 丸浜運輸(株) 代表取締役 里見潤様を講師に迎え、演題の「いわき再生に向けてのトップの取り組み」について、以下ご講演を頂きました。

- ・震災前の加速度的にまちが衰退していく状況には、新たな産業を構築することで対応できるが、震災後は放射能汚染による全産業の衰退が顕著な現況下、いわき再生(復旧ではなく)へ向けて取り組む心構えの必要性
- ・放射能関連産業(医療研究機関、モニタリング、除染)、新エネルギー関連産業(洋上風力発電、いわき総合エネルギー産業都市)など、新産業の導入による雇用の確保及び拡大
- ・小名浜港背後地(都市センターゾーン) 開発事業協力者募集の審査委員会にてイオンモールが選定された事により、2015年の開業予定までの3年間に、企業トップが取り組む必要性
- ・行政民間連携による「いわき復興まちづくり会社」の早期立ち上げ、以下事業の必要性

①小名浜の漁港区の再整備、市街地再開発、合同庁舎管理運営

②火力発電(LNG・石炭)増設及びその温排水利用など
いわき総合エネルギー産業都市関連

③モニタリング、除染、食物全量検査(安全ブランドシー



ル)による安全・安心の確保

講演後もいわき再生への前向きな意見が多数出て、有意義な講演となりました。

スポーツ交流グループ会

■日 時 1月18日(水曜日) 8:50集合
■場 所 湯本温泉 吹の湯

●内 容 湯本温泉吹の湯にて、新年賀詞交歓会を開催致しました。吹の湯さんについては、いわき湯本温泉の中でも一番奥の高台に位置しており、天気の良い日は、最上階より海を望むことができます。温泉の泉質は硫黄泉で、展望大浴場露天風呂など豊かな湯のぬくもりを十分に堪能できるお宿です。震災以来、断水や風評被害なども有りましたが、8月24日から一部であります営業を再開し、一般客の受け入れを再開しました。現在は東京電力関係の工事従事者を受け入れております。と吹の湯 専務取締役の若松様よりお話を頂きました。

湯本温泉でも、ひときわ立派な宿泊施設であり震災前の賑わいを是非取り戻して頂き活気ある温泉街の復活を期待をし、かつ会員皆様が明るい年になることを祈りながら新年グループ会を終了致しました。

資質向上グループ会

■日 時 1月21日(土曜日) 8:00集合
■場 所 常陸・笠間方面



雪雲の様子を伺いながら、2台の車でスタート。友部SAで休憩、土産コーナーで、いわき産(永崎)のかまぼこを見つけて、いわきブランド品健在…と感傷に浸る。カーナビに導かれながら阿見町にある予科練平和記念館に到着。予科練平和記念館「参加したGR会のメンバー、それぞれに感慨深いものがありました。」予科練「海軍飛行予科練習生」。昭和初期、現在の中学～高校生にあたる少年たちが、搭乗員を目指し日夜厳しい訓練に明け暮れ、終戦まで24万人が入隊し24,000人が戦地に赴き、中には特別攻撃隊として出撃した者も多く、19,000人(8割)が戦死した。館内では、7つの(7つボタン)展示室で激動の時代に生きた若者たちの歴史を伝えている。「僕はもう、お母さんの顔を見られなくなるかもしれない

い。お母さん、良く顔をみせて下さい。しかし、僕は何にもカタミを残したくないんです。十年も二十年も過ぎてからカタミを見てお母さんを泣かせるからです。お母さん、僕が郡山を去る日、自分の家の上空を飛びます。それが僕の別れのあいさつです。(昭和20年5月沖縄で戦死 享年19歳)昭和を代表する写真家・土門拳氏の、奇跡的に残された42枚の写真が展示されています。予定をオーバー、昼食は柏ICを降りて16号線のレストランで…満腹。キッコマンもの知りしょうゆ館(午後1時～)15分の映像を見てから、急遽御用蔵を拝観させて頂く。宮内庁に納める醤油の醸造所(平成19年近代化産業遺産登録)。「キッコウマン」醤油で通じる世界のブランド品。なぜ関東で、野田や銚子が醤油の一大生産地になったか?醤油のルーツ・製造工程・御用蔵の歴史について、詳細に説明を頂く。なかなか見る機会の無い見学コース拝観に感謝をし、物販コーナーで買い物をして工場を後にする。

ミゾレ気味の中、利根川を横切りミュージアムパーク「茨城県自然博物館」に到着。広大な敷地の中に3階建ての館内は、①進化する宇宙②地球の生い立ち③自然の仕組み ④生命の仕組み ⑤人間と環境⑥⑦ディスカバリープレイス ⑧企画展示室 ⑨菅生沼をバックグラウンドに豊かな収蔵品と自然に囲まれた施設です。「46億年の時と空間の旅人になる」のテーマ館。過密スケジュールのため、後日の家族とのふれあいに後を託して帰宅の途に…。午前8時～午後6時過ぎ(解散)まで、ミゾレ気味の肌寒い1日でしたが、充実したGR会でした。一部修正

のスケジュールでしたが、事故も無く本年度の移動GR会は終了しました。

いわきブランド研究会

■日 時 1月10日(火曜日)17:00～
■場 所 正月荘

●内 容 新年会及び来年度の活動方針についてまず、武藤会長より新年の挨拶があり、新年会を始める前に来年度の活動について話し合いを致しました。来年度活動の目玉としては、いわき経済同友会が中心になって、これまでにない「カジキ料理」をいわき市から発信し、新しい食文化のブランド化を目指すと共に、いわき市の経済復興を推進する事を主旨とした、第2回「カジキ料理コンテスト」の開催について、いわき市中央卸売市場丸秀水産社長森田氏を中心となり6月ごろに開催したいとの提案について、満場一致で可決し、幹事会等で審議いただくことといたしました。後半は新年会に移り昨年の労をねぎらい散会と致しました。



2月例会・公開講演会開催

3月5日(月)

17:45～ 会食(3F会議室) 18:15～ 例会
18:30～ 講演会

於 いわき建設会館 5階会議室

テーマ(仮)「再生可能エネルギーいわき沖浮体風力発電」

講師 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授 石原 孟氏

今回の例会は講師の先生のご都合により開催日が3月になりましたが2月公開講演会といたします。

3月まとめ例会

3月26日(月) 18:30～ パレスいわや

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行
編集

いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長/阿部晴康・岩尾英子・清水雅昭・
鈴木清友・田村慎太郎
委員/山崎勇一郎